



# ひとりぼっち ゼロ PROJECT

ニュース No.56  
2022.9.1

## 映画「ひまわり」上映会中止のお詫び

7月31日の「ひまわり」上映会はコロナ感染者急増により、更なる感染拡大を防ぐため中止といたしました。上映会を楽しみにしてくださっていた皆様、誠に申し訳ありません。上映に代え、平和への願いをこめた2つのメッセージをお届けします。

※チケット代返金につきましては取りまとめ団体、事務局で対応中です。



### 連帯と祈り

ウクライナの障害のある同胞(はらから)へ

戦争は、障害者を邪魔ものにする  
戦争は、障害者を置き去りにする  
戦争は、優生思想をかきたてる  
大量の障害者をつくり出す最大の悪、それが戦争

朝一番のニュースを恐る恐る  
キエフの包囲網がまた狭まった  
教会も文化財も悲鳴を上げて崩れ落ちる  
禁じ手が反古(ほご)にされ原子力発電所から火の手

殺し合いでなく話し合いを  
侵攻でなく停戦を  
停戦でなく平和を  
青い空と黄色の豊作に似合うのは平和

私たちは祈ります  
西北西の方角をじっとみつめながら  
心の中から希望が切り離されないように  
とにかく生き延びてほしい

戦争は、障害をたちどころに重くする  
戦争は、障害者の尊厳を軽々と奪い去る  
戦争は、障害者の明日を真っ黒に塗りたくる  
早いうちに、否、この瞬間に終わらせなければ

もう一度くり返す  
とにかく生き延びてほしい  
たとえ、食べ物を盗んでも  
たとえ、敵兵に救いを乞うてでも



遠い遠い、でも魂はすぐ傍(そば)の日本より

ふじいかつのもり ※NPO 法人日本障害者協議会 HP より  
※藤井克徳 (NPO 法人日本障害者協議会代表)

### 平和・暴力と優生保護法問題

広島に原爆が投下されて77年を迎えました。平和式典で、広島子ども代表による「平和への誓い」は平和とは戦争を止めさせること、起こさないこと、さらには、当たり前の日常を奪うことも平和の破壊だと、教えられます。

この3年間優生保護法の被害者と共に歩む中で、優生保護法はなくなったが、優生保護法問題は続いていることを学んできました。ノルウェーのオスロに「国際平和研究所」があり、設立に尽くしたヨハン・ガルトゥングは二つの平和と三つの暴力を提唱しました。平和実践者の伊藤智子さんがわかりやすく紹介してされているのでリレーします。

#### 2つの平和

- ① 消極的平和…暴力や戦争のない状態をいいます。
- ② 積極的平和…共感を基に協調・調和のある状態。人権が尊重され、福祉や繁栄が保障される状態とされています。

#### 3つの暴力

- ① 直接的暴力…紛争・虐殺・家庭内暴力
- ② 構造的暴力…貧困・飢餓・環境問題・差別問題・疎外・搾取など
- ③ 文化的暴力…他者への不寛容・偏見憎悪・無関心など

優生保護法の問題の本質もこの中にあると確信できたこの夏です。

大矢暹 (きこえない人のひとりぼっちをなくそう PROJECT 常任委員)



連絡先：きこえない人のひとりぼっちをなくそう PROJECT 事務局 (神戸ろうあ協会内)

TEL : 078-371-3071 FAX : 078-371-3052

E-mail : hitoribotch\_0@yahoo.co.jp

https ://www.normanet.ne.jp/~hitori-0/

